

2027年3月期 2Q 決算説明会

本資料には、業績見通し及び事業計画等を記載しています。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しています。
従って、実際の業績は、様々な要因により業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

2026年10月30日

日本精工株式会社

目次

1. 2027年3月期 1H実績
2. 2027年3月期 通期予想
3. 中長期的な企業価値向上への取り組み

（補足資料）

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期 1H実績

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期（FY26）1H決算のポイント

FY26 1H実績

✓ AI関連投資を背景とした産業機械事業の需要回復に加え、体質改善が進展し、対前年増収増益。
円安影響も収益を押し上げ。

		YoY	YoY うち、ステアリング事業
売上高	5,204億円	＋1,081億円	(＋735億円)
営業利益	301億円	＋124億円	(-12億円)
一過性除く※	335億円	＋171億円	

YoY減益
FY25は連結子会社化による
一時的な損益26億円を含む

FY26 通期予想

✓ FY26 1H実績および産業機械事業の需要動向を反映し、FY26通期業績予想を上方修正。

	通期予想	対7月予想	YoY	YoY うち、ステアリング事業
売上高	10,500億円	＋100億円	＋1,384億円	(＋794億円)
営業利益	560億円	＋60億円	＋172億円	(-17億円)
一過性除く※	710億円	＋60億円	＋258億円	

株主還元

✓ 安定的な利益還元（DOE2.5%を下限の目安）を継続。
- FY26 中間配当　17円/株、年間配当　34円/株を予定

※営業利益からその他の営業収益および費用（為替差損益ほか）、構造改革関連費用を除いた利益を表示しています。

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

FY26 1H実績サマリー

- ✓ 自動車事業は減収も、産業機械事業の増収と円安影響によって対前年増収。
- ✓ 産業機械事業の増収効果と構造改革効果を含む体質改善の進展、さらには円安影響で対前年増益。
- ✓ 通期業績予想（2026年7月公表）に対して順調に進捗。

(億円)	1H実績 FY25	1H実績 FY26	YoY 増減額 (為替影響)	YoY 増減率	FY26 通期予想 7月公表
売上高	4,123	**5,204**	**+1,081 (+284)**	**+26.2%**	**10,400**
営業利益	177	**301**	**+124**	**+69.8%**	**500**
（率）	(4.3%)	**(5.8%)**	**(+71)**		**(4.8%)**
一過性除く※	164	**335**	**+171**	**+104.1%**	**650**
（率）	(4.0%)	**(6.4%)**	**(+77)**		**(6.3%)**
税引前中間利益	173	**289**	**+116**	**+67.1%**	**480**
中間利益（親会社所有者帰属）	105	**188**	**+83**	**+78.8%**	**290**
換算レート 1USD	**146.0**	**159.4**	**+13.3**	**+9.1%**	**156.1**
〃 1EUR	**168.1**	**184.4**	**+16.3**	**+9.7%**	**181.4**
〃 1CNY	**20.3**	**23.5**	**+3.2**	**+15.9%**	**22.7**

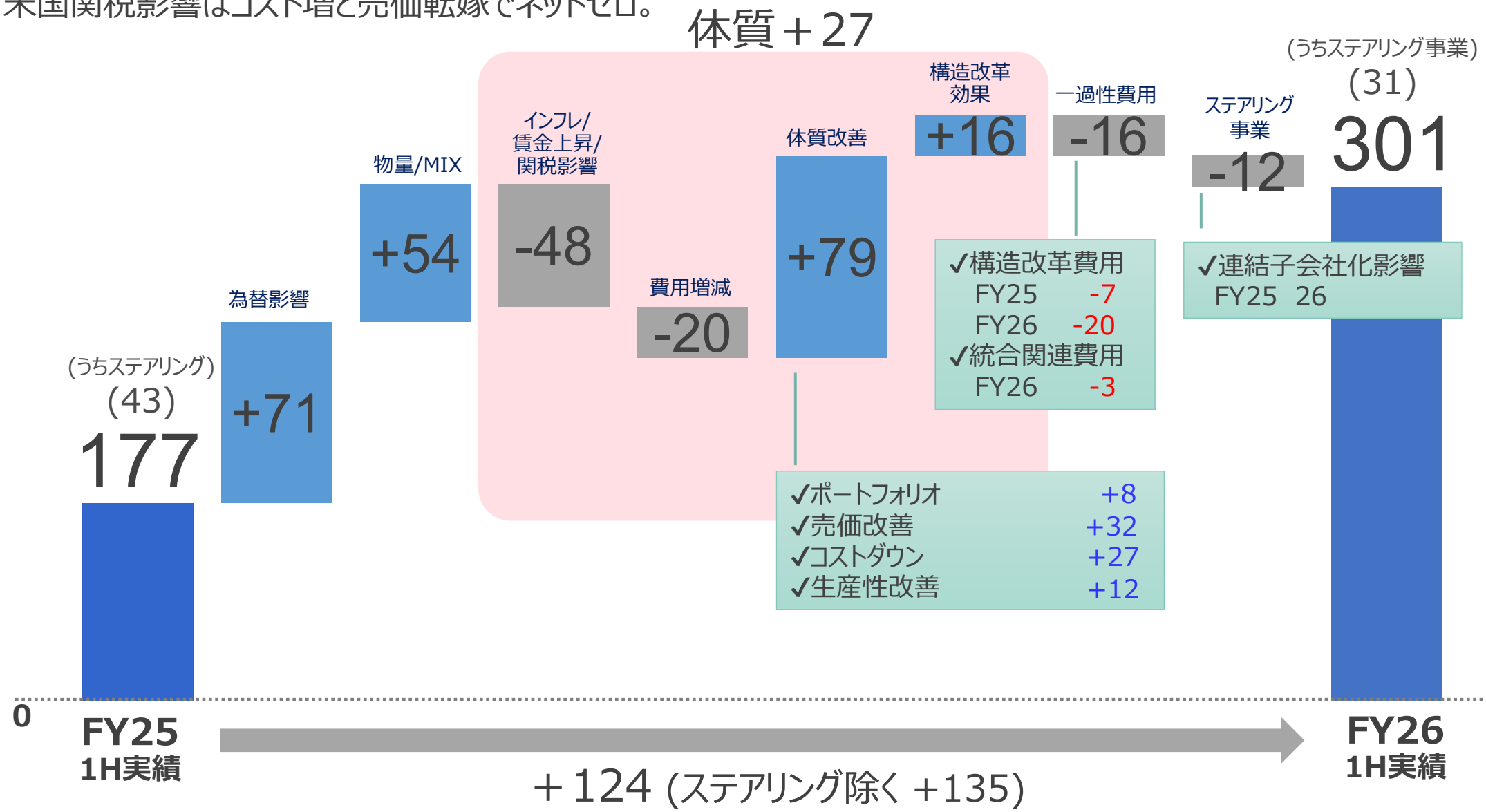
※ 営業利益からその他の営業収益および費用（為替差損益ほか）、構造改革関連費用、ステアリング事業の連結子会社化による一時的な損益（FY25）を除いた利益を表示しています。

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

営業利益 増減内訳 FY25 1H実績 ⇒ FY26 1H実績

（億円）

- ✓ 産業機械事業の増収効果、構造改革効果を含む体質改善、円安影響で対前年増益。
- ✓ 米国関税影響はコスト増と売価転嫁でネットゼロ。



Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

FY26 1H実績 –産業機械事業–

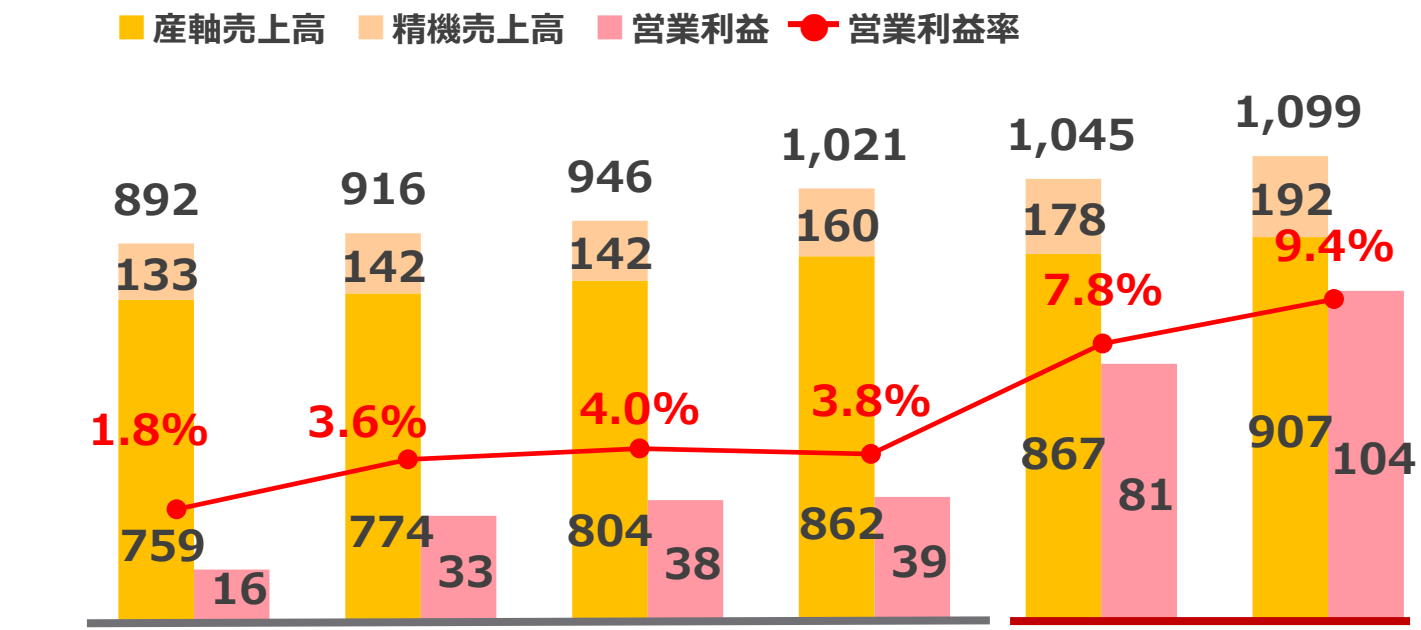
FY26 1H実績 為替影響を除いて10.0%増収。

- 産機軸受：日本、中国で工作機械向けを中心に増収。
- 精機製品：日本、中国で半導体製造装置、工作機械向け増収。

1H営業利益率 8.6% [軸受 8% 精機製品 11%]、一過性除く利益は9.2%。2Hも収益改善を継続。

(億円)

	1H実績		YoY	
	FY25	FY26	増減額 (為替影響)	増減率 (為替除く)
売上高	1,808	2,145	+337 (+156)	+18.6% (+10.0%)
産業機械軸受	1,533	1,774	+241	+15.7%
精機製品	275	371	+95	+34.6%
営業利益	49	185	+136	+278.4%
(率)	(2.7%)	(8.6%)		
一過性除く	55	197	+142	+256.7%
(率)	(3.1%)	(9.2%)		
換算レート1USD	146.0	159.4	+13.3	+9.1%
〃 1EUR	168.1	184.4	+16.3	+9.7%
〃 1CNY	20.3	23.5	+3.2	+15.9%



	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
	FY25				FY26	
USD	144.6	147.5	154.2	156.9	159.5	159.3
EUR	163.8	172.3	179.4	183.6	185.4	183.3
CNY	20.0	20.6	21.7	22.7	23.4	23.6

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

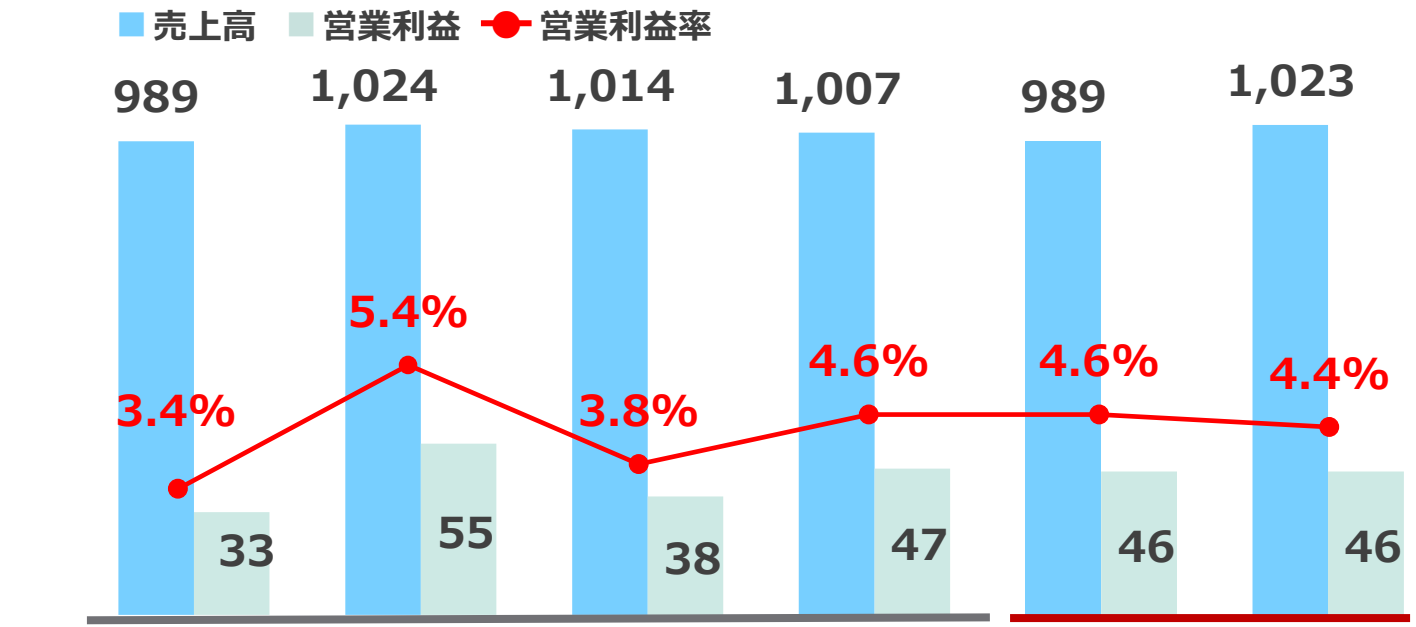
FY26 1H実績 –自動車事業–

FY26 1H実績 為替影響を除いて5.8%減収。
・軸受は欧州、中国で減収も、電動ブレーキ用ボールねじなど重点領域製品の販売拡大は順調。
1Hは前年比減収に対し増益。一過性除いた利益率は4.9%。2H５%への改善を目指す。

※ FY25 8月までのステアリング事業の持分法による投資損益は自動車事業から
ステアリング事業へ組み替えて表示しています。

(億円)

	1H実績 FY25	1H実績 FY26	YoY 増減額 (為替影響)	YoY 増減率 (為替除く)
売上高	2,012	2,011	-1 (+115)	-0.0% (-5.8%)
営業利益	89	91	+3	+3.0%
(率)	(4.4%)	(4.5%)		
一過性除く	89	98	+10	+11.1%
(率)	(4.4%)	(4.9%)		
換算ﾚｰﾄ1USD	146.0	159.4	+13.3	+9.1%
〃 1EUR	168.1	184.4	+16.3	+9.7%
〃 1CNY	20.3	23.5	+3.2	+15.9%



	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
[一過性]	[1]	[0]	[23]	[19]	[3]	[4]
	FY25				FY26	
USD	144.6	147.5	154.2	156.9	159.5	159.3
EUR	163.8	172.3	179.4	183.6	185.4	183.3
CNY	20.0	20.6	21.7	22.7	23.4	23.6

グローバル自動車生産台数（S&P）

百万台	FY25 1H	FY26 1H	増減率
	46	46	-0%

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

FY26 1H実績 –顧客地域別売上高（ステアリング事業除く）–

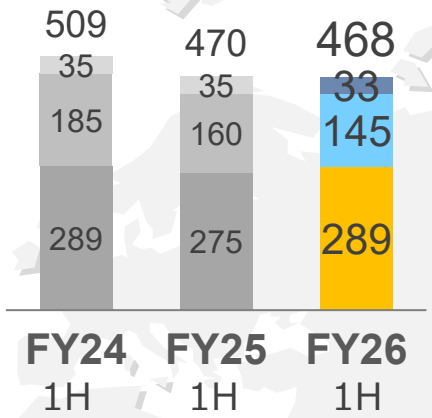
欧州：自動車、産機ともに販売低迷。

米州：増収を継続（為替・関税還付影響を除く）

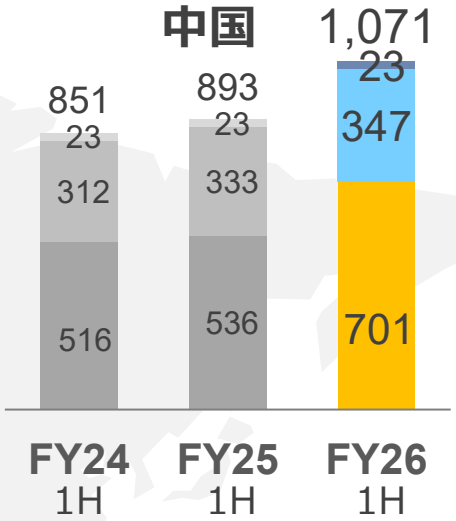
中国：工作機械向け等を中心に大幅な増収。

日本：半導体製造装置・工作機械向けが牽引し増収。

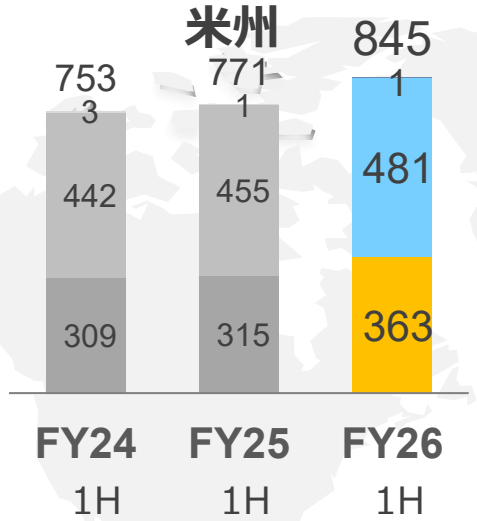
欧州

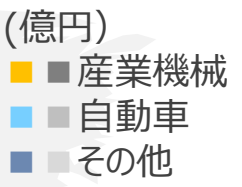


中国



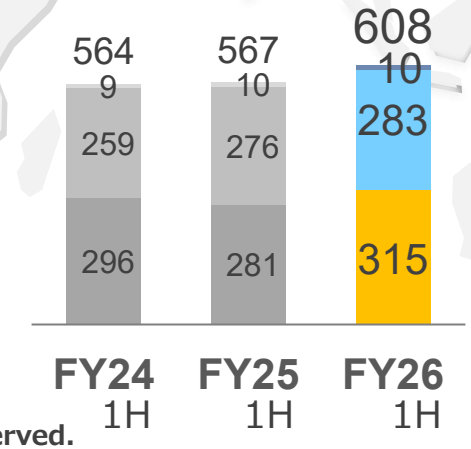
米州



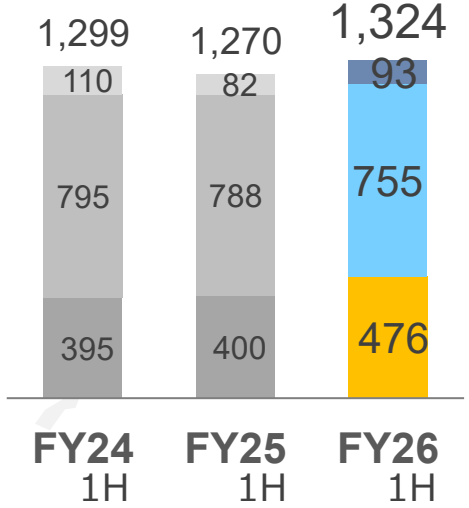


その他アジア

・産機　：インド増収
・自動車：インド増収、アセアン減収



日本



※各地域のグラフは、以下のステアリング事業の数値を除く。

【FY26】日本　247　米州　243　欧州　287
中国　70　その他アジア　41

【FY25】日本　43　米州　42　欧州　43
中国　17　その他アジア　6

換算レート	FY24 1H	FY25 1H	FY26 1H
USD	152.6	146.0	159.4
EUR	165.9	168.1	184.4
CNY	21.2	20.3	23.5

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期 通期予想

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期（FY26）通期業績予想の前提

	1Q時点（7月）	2Q時点（10月）
為替レート	✓ 2Q以降 USD 155円、EUR 180円、CNY 22.5円	✓ USD/円に動きが見られるが概ね想定どおり。 ✓ 2Hのレートは足元のEUR安進展を反映。 USD 155円、EUR 175円、CNY 22.5円
事業環境	✓ 産業機械　：AI市場の拡大を背景に需要は好調を継続。 ✓ 自動車　　：自動車生産台数はFY25水準を前提。 （期初前提据え置き）	✓ 産業機械：AI市場の需要は引き続き堅調。 中国向け販売も好調を維持。 ✓ 自動車　：生産台数は期初前提を据え置き。
中東情勢	✓ 販売影響として1Hに約40億円の減収影響を織り込み。 ✓ 2Q以降のコストへの影響は約30億円（期初前提20億円） → 当期中の売価転嫁を前提	✓ 販売影響は概ね想定線。 ✓ コスト影響も想定どおり30億円程度となる見込み。 → 売価転嫁の交渉が2Hの課題。
米国 関税政策	✓ 関税政策によるコスト増減は売価へ反映する方針。 ✓ 7月24日発動の関税影響は軽微。	✓ コスト増減影響は7月時点の見通しから変更なし。 ✓ コスト増に対する売価転嫁が進捗し影響はネットでゼロ。
構造改革	✓ 欧州、日本を中心としたグローバル再編。 - 欧州：[英国]ピータリー地区・ニューアーク地区生産撤退 [ポーランド]キルチェ工場縮小。 - 日本：生産拠点再編と販売体制の見直し推進。	✓ 費用計上タイミング差あるが計画どおりに進捗。 -費用:1H 20億円　2H 75億円　通期 95億円 -効果:1H 16億円　2H 14億円　通期 30億円
統合費用	✓ NTN株式会社との統合に関する費用50億円を計上。	✓ 7月時点から変更なし。 ✓ 1H 3億円計上　2H 47億円を織り込み。

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

FY26通期業績予想

✓ FY26 1H実績および産業機械事業の需要動向を反映し、FY26通期業績予想を上方修正。

2H為替レート前提：USD 155円、EUR 175円、CNY 22.5円

(億円)	FY26通期 2026年7月予想	FY26通期 修正予想	FY26通期 増減額 (為替影響)	FY26通期 伸び率	FY25通期 実績	YoY 増減額 (為替影響)	YoY うち、ステアリング事業	YoY 伸び率
売上高	10,400	**10,500**	**+100 (+20)**	**+1.0%**	9,116	**+1,384 (+270)**	(+794)	**+15.2%**
営業利益	500	**560**	**+60 (+10)**	**+12.0%**	388	**+172 (+45)**	(-17)	**+44.3%**
(率)	(4.8%)	**(5.3%)**			(4.3%)			
一過性除く※	650	**710**	**+60 (+10)**	**+9.2%**	452	**+258 (+45)**		**+57.2%**
(率)	(6.3%)	**(6.8%)**			(5.0%)			
税引前利益	480	**535**	**+55**	**+11.5%**	380	**+155**		**+40.6%**
当期利益 (親会社所有者帰属)	290	**340**	**+50**	**+17.2%**	229	**+111**		**+48.7%**
換算レート1USD	156.1	**157.2**	**+1.1**	**+0.7%**	150.8	**+6.4**		**+4.3%**
〃 1EUR	181.4	**179.7**	**-1.7**	**-0.9%**	174.8	**+4.9**		**+2.8%**
〃 1CNY	22.7	**23.0**	**+0.3**	**+1.2%**	21.3	**+1.8**		**+8.3%**

※ 営業利益からその他の営業収益および費用（為替差損益ほか）、構造改革関連費用、ステアリング事業の連結子会社化による一時的な損益（FY25実績）を除いた利益を表示しています。

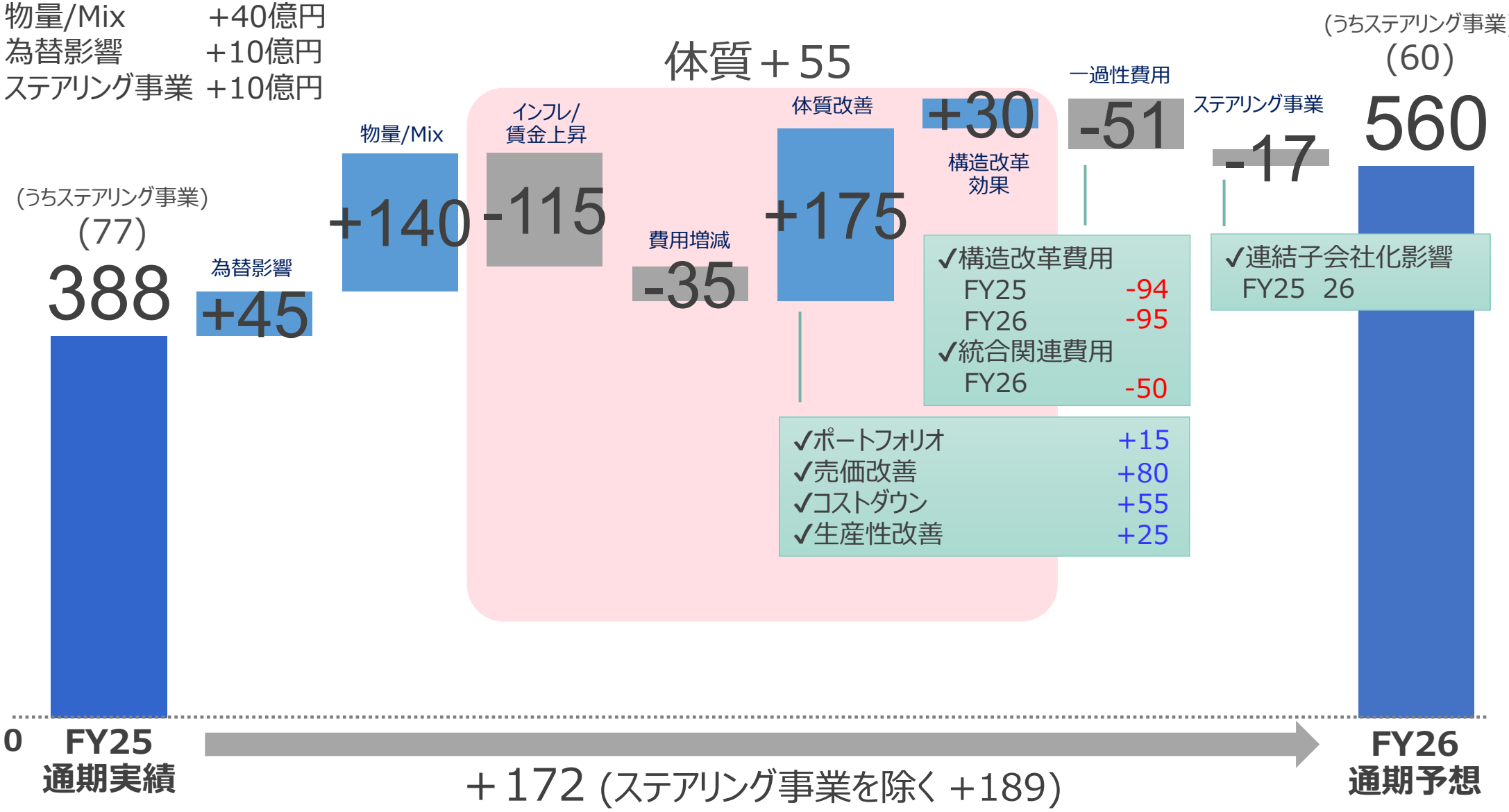
Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

営業利益 増減内訳 FY25 通期実績 ⇒ FY26 通期予想

✓ 7月時点予想からの営業利益増減 +60億円（500億円→560億円）

・物量/Mix　+40億円
・為替影響　+10億円
・ステアリング事業 +10億円

（億円）



Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

FY26通期業績予想 –セグメント別–

産業機械事業

(億円)	FY26予想 2026年7月	修正予想	増減額	増減率	FY26 1H実績	2H予想
売上高	4,250	4,360	+110	+2.6%	2,145	2,215
産業機械軸受	3,510	3,580	+70	+2.0%	1,774	1,806
精機製品	740	780	+40	+5.4%	371	409
営業利益	325	375	+50	+15.4%	185	190
(率)	(7.6%)	(8.6%)			(8.6%)	(8.6%)
一過性除く	395	440	+45	+11.4%	197	243
(率)	(9.3%)	(10.1%)			(9.2%)	(11.0%)

主なセクター別需要動向（NSK予測）

↑：7月予想から変更

		FY26 1H Vs FY25 2H	FY26 2H vs FY26 1H
E&E	アフターマーケット(AM)	→	→
E&E	家電	→	→
E&E	自動車	→	→
OEM	ロボット	↑	↑
OEM	風力	↓	→
OEM	鉄道	→	→
OEM	工作機械	↑↑↑	→
OEM	半導体製造装置	↑↑↑	↑↑

・半導体製造装置・工作機械向けの需要は堅調に推移。生産体制の強化による供給能力の拡大と体質改善で営業利益率2桁%への収益力回復を目指す。2Hは国内構造改革の着手を計画。

自動車事業

(億円)	FY26予想 2026年7月	修正予想	増減額	増減率	FY26 1H実績	2H予想
売上高	4,050	4,030	-20	-0.5%	2,011	2,019
営業利益	180	175	-5	-2.8%	91	84
(率)	(4.4%)	(4.3%)			(4.5%)	(4.2%)
一過性除く	205	200	-5	-2.4%	98	102
(率)	(5.1%)	(5.0%)			(4.9%)	(5.1%)

グローバル自動車生産台数（百万台, NSK予測）

FY26
2026年7月予想
91
1H 2H
45 46

FY26
91
1H 2H
46 45

・7月時点の予想に対し減収を見込むが、構造改革とコスト改善を計画どおり推進し、一過性除く営業利益率で5%を目指す。

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

中長期的な企業価値向上への取り組み

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画2028 営業利益目標750億円達成への道筋

✓ 物量に頼らない改善+270億円は計画どおり進捗。FY26は+55億円を見込み、目標に向けて着実に前進。

中期経営計画2028　収益改善ロードマップ



体質改善

効果 vsFY25	FY26	FY27	FY28
	10億円 >	65億円 >	100億円

・売価改善、コストダウン、生産性改善は計画どおりに進展。
・AI・データを活用した事業変革と事業運営高度化の加速。
» アクセンチュア株式会社との戦略的パートナーシップ契約を締結。

構造改革

効果 vsFY25	FY26	FY27	FY28
	30億円 >	65億円 >	120億円
費用	95億円 >	125億円 >	25億円

・欧州は計画どおりFY26に生産再編を完遂予定。FY27に刈り取り。
・日本はFY26 2Hに着手しFY28に刈り取り。

ポートフォリオ変革

効果 vsFY25	FY26	FY27	FY28
	15億円 >	30億円 >	50億円

産業機械事業 重点領域割合

	FY26見込み	FY28目標
	55%	55%

・堅調な需要を背景に収益性の高い精密軸受・精機製品が拡大。

精密軸受 精機製品	さらなる販売拡大へ、半導体製造装置向け極限クリーン製品の開発・市場投入など製品ラインナップ拡充。
アフターマーケット	欧州・中東減少も北米での拡大に加え、インドの販売が順調に増加。

自動車事業 重点領域割合

	FY26見込み	FY28目標
	29%	35%

・中期経営計画2028の拡販案件の受注に目途。

電動ブレーキ用ボールねじ	FY26は　対前年＋30%　の増加を見込み、中期経営計画2028の販売目標にも目途。



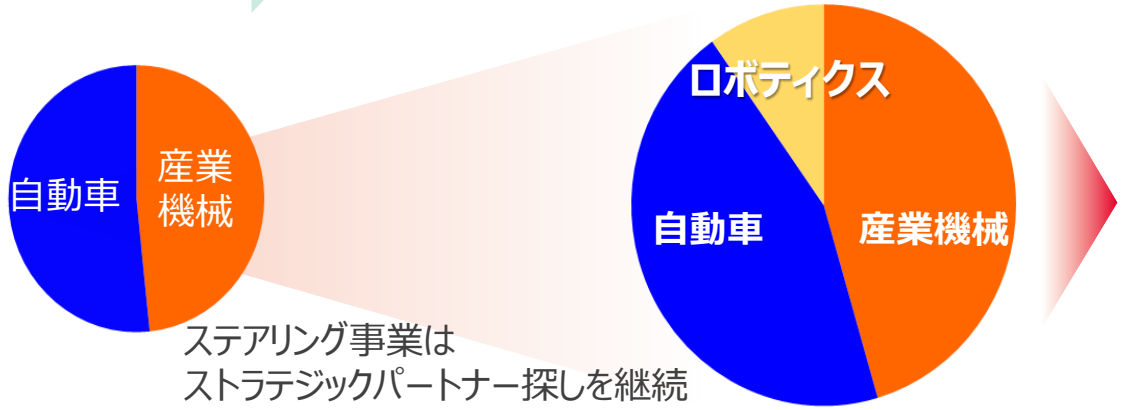
さらなる拡大へ向け、
中国で電動ブレーキ用ボールねじの生産能力を強化。
インドではハブユニット軸受の生産能力を強化。

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

「NSKビジョン2036」へ向けたBeyond領域への仕掛け

✓ FY28までに収益体質を強化し、創出したキャッシュをBeyond領域へ配分することで、次の成長の柱を育てる。

■事業軸 → 成長するロボット市場での事業軸の確立



■製品軸 → アクチュエータ・システム製品軸の確立
PLMビジネスモデルの拡大



ロボティクス事業の進捗

株式会社アトムと戦略的パートナーシップに関するMOUを締結
日本発のヒューマノイドロボット産業の発展に貢献

- ✓ アクチュエータの共同検証
- ✓ 製造現場を活用した
  フィジカルAIデータの共同収集



アクチュエータのラインナップを拡充

新開発アクチュエータ **電動ハイドロブースタ**



JIMTOF2026展示

工作機械・油圧プレス機・産業用ロボット等の
省エネ化と生産性向上に貢献

- ✓ 消費電力を大幅に削減
- ✓ 高速動作による生産性向上
- ✓ 小型化に省スペース化に貢献

PLMの拡大

マイニング、セメント領域に強いOEMにCMSを導入

さらなる拡大に向けて
データセンター向け電力プラントをはじめとする
インフラへのソリューションを提案中



Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

補足資料

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

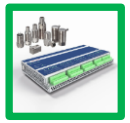
補足．AI投資拡大におけるNSK製品の貢献領域

使用されるNSK製品


ベアリング


ボールねじ


リニアガイド


CMS

✓ AI投資の拡大が、NSKの産業機械向け製品需要を牽引



発電設備・電池製造設備




自家発電装置、非常用電源


電池(製造設備)

製品需要

・電池製造設備
　»フィルム圧延機、ロールプレス機
・冷却ファン用モータ

データセンターを支えるインフラ


サーバー用ラック


半導体チップ



建屋・配管

工作機械・半導体製造装置

半導体製造・筐体加工・建屋・配管


半導体製造装置


工作機械


産業用ロボット





製品需要

・主軸ベアリング　・位置決めユニット　・工具交換装置　・減速機

冷却設備




空冷設備、空調機、サーバーファン


冷却システム(ターボ冷凍機など)


サーバー内ファン

製品需要

・冷却ファン用モータ
・コンプレッサ
・ポンプ

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

補足. 事業セグメント別業績

		FY25実績							FY26実績			1H YoY		FY26予想	
		1Q	2Q	1H	3Q	4Q	2H	通期	1Q	2Q	1H	増減額	伸び率	2H	通期
合計	売上高	1,958	2,165	4,123	2,462	2,532	4,994	9,116	2,556	2,647	5,204	+1,081	+26.2%	5,296	10,500
	営業利益	48	129	177	112	99	211	388	150	151	301	+124	+69.8%	259	560
	（営業利益率）	(2.4%)	(6.0%)	(4.3%)	(4.6%)	(3.9%)	(4.2%)	(4.3%)	(5.9%)	(5.7%)	(5.8%)			(4.9%)	(5.3%)
除くステアリング	売上高	1,958	2,013	3,971	2,037	2,104	4,140	8,111	2,114	2,203	4,317	+346	+8.7%	4,383	8,700
	営業利益	45	89	135	87	89	176	311	134	136	270	+135	+100.7%	230	500
	（営業利益率）	(2.3%)	(4.4%)	(3.4%)	(4.3%)	(4.2%)	(4.3%)	(3.8%)	(6.3%)	(6.2%)	(6.3%)			(5.2%)	(5.7%)
産業機械事業	売上高	892	916	1,808	946	1,021	1,967	3,775	1,045	1,099	2,145	+337	+18.6%	2,215	4,360
	産業機械軸受	759	774	1,533	804	862	1,666	3,198	867	907	1,774	+241	+15.7%	1,806	3,580
	精機製品	133	142	275	142	160	301	577	178	192	371	+95	+34.6%	409	780
	営業利益	16	33	49	38	39	77	126	81	104	185	+136	+278.4%	190	375
	（営業利益率）	(1.8%)	(3.6%)	(2.7%)	(4.0%)	(3.8%)	(3.9%)	(3.3%)	(7.8%)	(9.4%)	(8.6%)			(8.6%)	(8.6%)
自動車事業	売上高	989	1,024	2,012	1,014	1,007	2,021	4,033	989	1,023	2,011	-1	-0.0%	2,019	4,030
	営業利益	33	55	89	38	47	85	174	46	46	91	+3	+3.0%	84	175
	（営業利益率）	(3.4%)	(5.4%)	(4.4%)	(3.8%)	(4.6%)	(4.2%)	(4.3%)	(4.6%)	(4.4%)	(4.5%)			(4.1%)	(4.3%)
その他	売上高	151	131	282	134	134	267	549	135	137	272	-11	-3.7%	278	550
	営業利益	3	-1	3	0	2	2	5	3	4	7	+4	+154.5%	0	7
	（営業利益率）	(2.3%)	(-0.6%)	(1.0%)	(0.0%)	(1.6%)	(0.8%)	(0.9%)	(2.4%)	(2.6%)	(2.5%)			(0.1%)	(1.3%)
売上高消去		-73	-58	-132	-57	-58	-115	-246	-55	-56	-111	+21	–	-129	-240
その他の営業損益/調整額		-7	2	-6	11	1	12	7	4	-17	-13	-7	–	-44	-57
ステアリング事業	売上高	-	152	152	426	428	854	1,006	443	444	887	+735	+484.1%	913	1,800
	営業利益	3	40	43	25	10	35	77	16	15	31	-12	-27.9%	29	60
	（営業利益率）	-	(26.4%)	(28.0%)	(5.8%)	(2.3%)	(4.1%)	(7.7%)	(3.5%)	(3.4%)	(3.5%)			(3.2%)	(3.3%)

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

補足．顧客地域別売上高

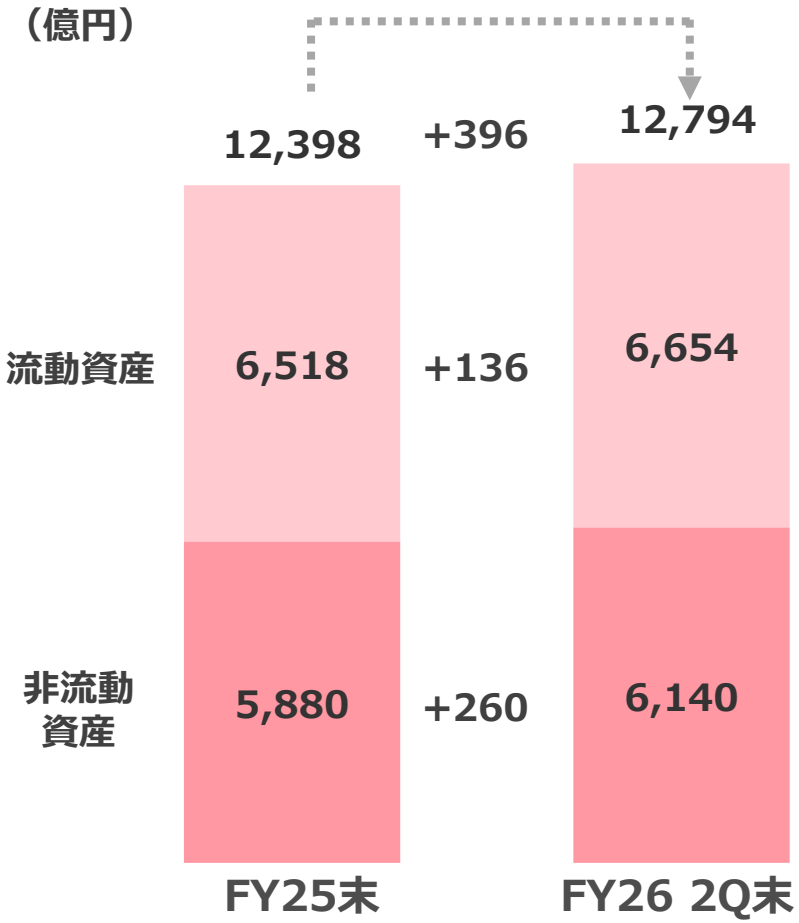
(億円)	FY25実績 1Q	2Q	1H	3Q	4Q	通期	FY26実績 1Q	2Q	1H	1H YoY 増減額	増減率
売上高	1,958	2,165	4,123	2,462	2,532	9,116	2,556	2,647	5,204	+1,081	+26.2%
日本	625	689	1,313	777	779	2,869	777	794	1,571	+258	+19.6%
海外合計	1,333	1,476	2,809	1,685	1,753	6,247	1,780	1,853	3,633	+823	+29.3%
(海外比率)	(68.1%)	(68.2%)	(68.1%)	(68.4%)	(69.2%)	(68.5%)	(69.6%)	(70.0%)	(69.8%)		
米州	386	428	814	475	543	1,831	527	561	1,088	+274	+33.7%
欧州	238	275	513	359	395	1,267	379	376	755	+242	+47.2%
中国	432	477	910	547	488	1,945	557	584	1,141	+231	+25.4%
その他アジア	277	296	573	305	326	1,204	316	333	649	+76	+13.2%
換算レート											
1USD	144.6	147.5	146.0	154.2	156.9	150.8	159.5	159.3	159.4	+13.3	+9.1%
1EUR	163.8	172.3	168.1	179.4	183.6	174.8	185.4	183.3	184.4	+16.3	+9.7%
1CNY	20.0	20.6	20.3	21.7	22.7	21.3	23.4	23.6	23.5	+3.2	+15.9%

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

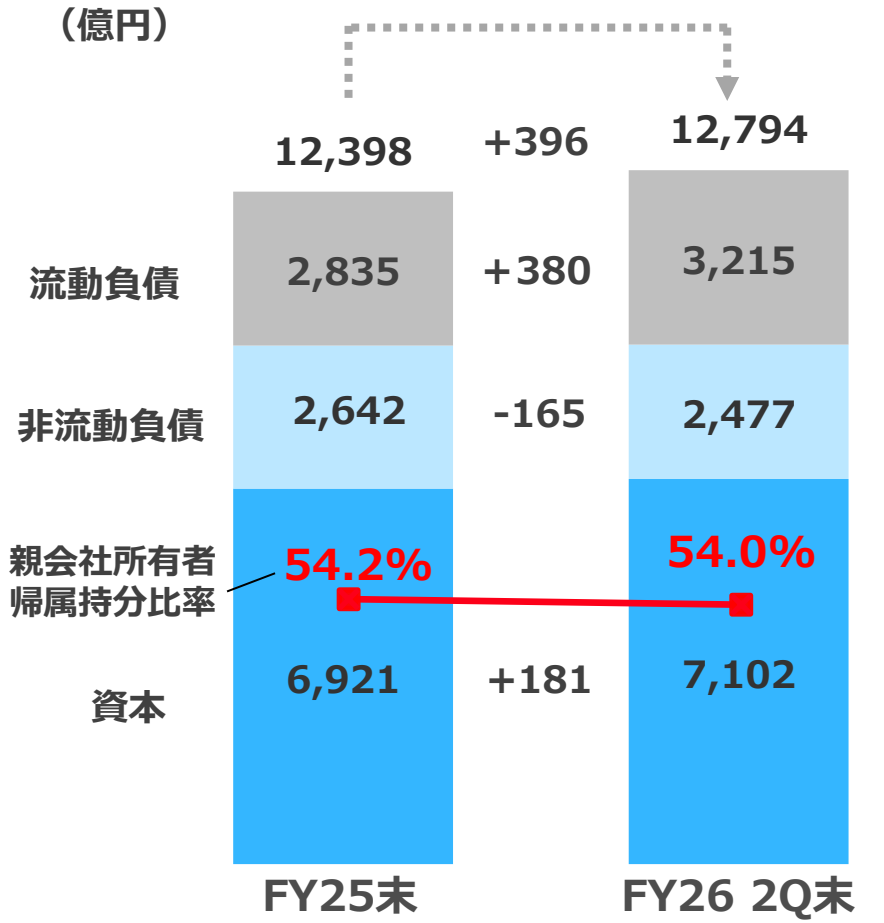
補足．財政状態

換算レート	FY25末	FY26 2Q末
1USD	159.9	157.3
1EUR	183.4	178.3
1CNY	23.1	23.5

資 産



負 債/資 本

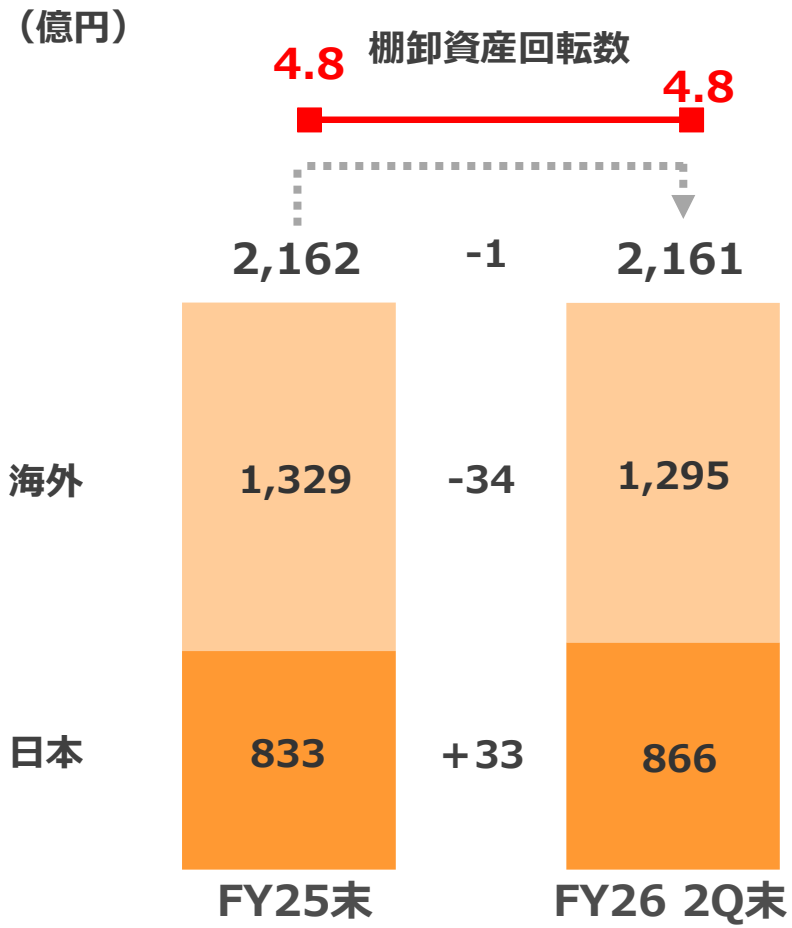


Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

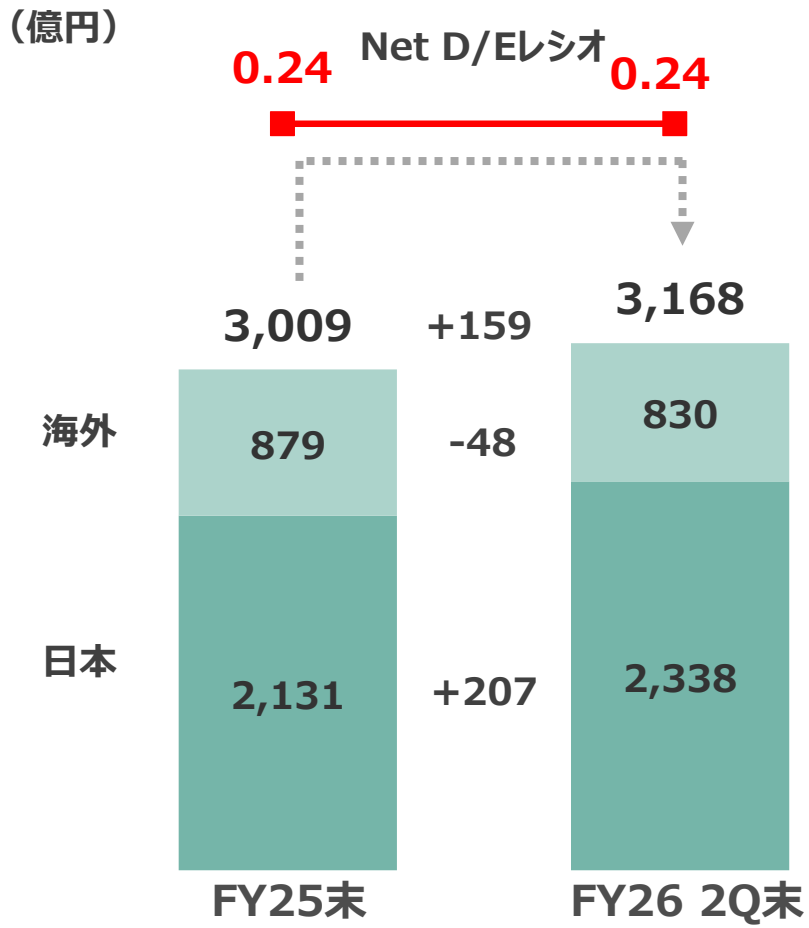
補足．棚卸資産/有利子負債

換算レート	FY25末	FY26 2Q末
1USD	159.9	157.3
1EUR	183.4	178.3
1CNY	23.1	23.5

棚 卸 資 産



有 利 子 負 債



Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

補足. 設備投資額/減価償却費/研究開発費

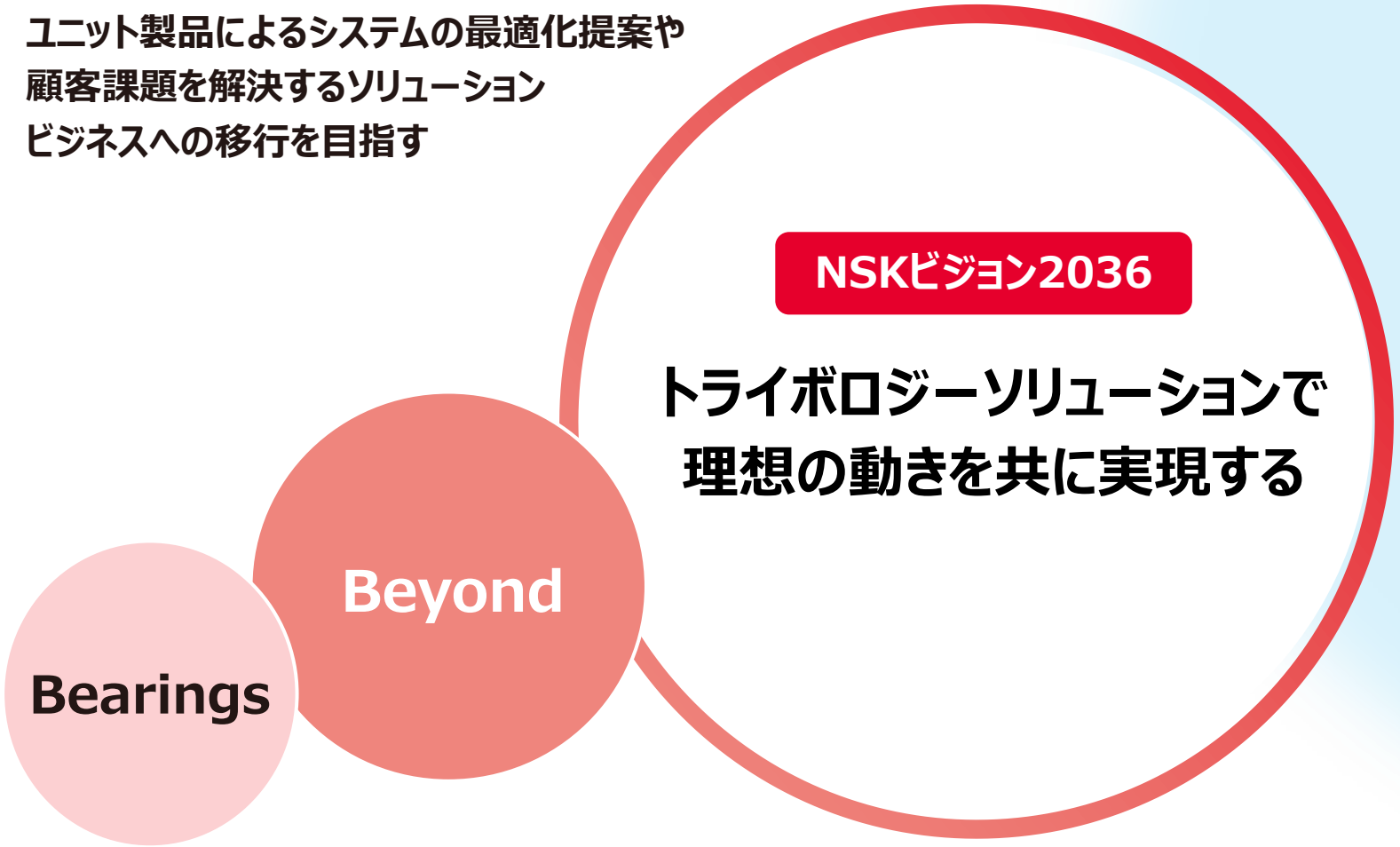
（億円）	FY25 通期実績	FY26 1Q実績	FY26 2Q実績	FY26 通期予想
設備投資額	519	94	122	600
設備投資額 (リース除く)	472	88	100	550
減価償却費	551	157	157	630
減価償却費 (リース除く)	504	144	145	580
技術関連費用	342	96	100	400
研究開発費 （制度決算ベース）	172	44	46	190

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.

NSKの将来像/目指す姿「NSKビジョン2036」

我々は、デジタル上の理想の動きを実現させるため、
世の中に必要とされるパズルピースとして重要な役割を担い続ける

軸受を中心とした機械部品ビジネスだけでなく、
ユニット製品によるシステムの最適化提案や
顧客課題を解決するソリューション
ビジネスへの移行を目指す



NSKの企業理念

NSKは、MOTION & CONTROL™を
通じ、円滑で安全な社会に貢献し、
地球環境の保全をめざすとともに、
グローバルな活動によって、
国を越えた人と人の結びつきを強めます。

Copyright NSK Ltd. All Rights Reserved.